

## 第 80 回 日本ユネスコ運動全国大会 in 新居浜に参加して

大会は 11 月 23 日、愛媛県新居浜市のリーガロイヤルホテル新居浜において約 350 名を集めて開催されました。大会テーマは「持続可能な未来へ～SDG s の先進事例から学ぶ～」です。広島ユネスコ協会からは 3 名が参加しています。

大会オープニングでは、鎮魂・浄化・解放の願いを込めて、新居浜市出身の篠笛演奏家、阿部一成さんによる篠笛の演奏が行われ、会場を落ち着いた雰囲気になせました。

開会式の後、住友史料館顧問である末岡照啓さんの記念講演が行われ、「別子銅山の繁栄とともに新居浜が四国最大級の都市に成長した」「1691 年（元禄 4 年）に開鉱し、283 年間銅を生産し、日本の産業を支え、発展させた」と別子銅山の偉大な事業を紹介されました。

続いて地元の小中高生による実践発表が行われました。新居浜市立多喜浜小学校では塩田について歴史、人物などを塩の学習館の指導員から学び、児童自らが作った塩を参加者に配られました。「学ぶことは過去にある」「先人から学んだことが未来を動かす」という児童の言葉に参加者から盛んに拍手が送られました。

新居浜市立惣開小学校では平成 26 年にユネスコスクールとして公民館や地域が開催する行事に参加し、環境教育の体験学習としてアサギマダラの観察をしています。アサギマダラを育てるためにフジバカマを植え、卒業しても土の入れ替え、水やりや草取りなどに関わっています。尾に色付けをし、名を記して放ちアサギマダラの生体が分るようにしています。SDGs の条件として①環境に敏感なこと ②強い結束力 ③寛大であること ④利益を追わないと発表されました。

この大会は、今時の流れで SDG s をキーワードとしてテーマに掲げているもので、興味をもちつつ参加させていただきました。

大会参加で得た情報ではないですが、新居浜の話題のカレー店は、75 歳以上限定の採用広告で応募した、76 歳平均のほっこりおばあちゃんたちが店を切り盛りしておられます。アップリサイクルに取り組む酒井興産が運営する「酒井カレー」。女性限定なので女性の活躍の場の提供に役立っています。こんな話題を聞くにつけ、新居浜いいなと思います。

懇親会では韓国大邱ユネスコ協会ソ・ジョンムン副会長とチョ・セラム事務局長も参加されており、韓国訪問の思い出話に花が咲きました。

2025 年度の全国大会は、石川県金沢市で 10 月に開催予定です。

<大会参加者> 森木 学 高田幸子 平井 勇